



ひとつに繋がる山と川 奇跡の地域づくり「干潟 de とんど」

理事長 山本恵由美 (京橋川かわいあいあしがるクラブ会長)

2005年から「広島のアシス」を守る活動を続けています。居住地とかけ離れた森林整備活動の理解を深めるためには、身近な環境教育も必要だと考えたからです。

京橋川沿いの白島九軒町には、広島市内で唯一、自然のままの河岸(土手)が残り、水質を浄化する貴重なアシ原と干潟が広がっています。汽水域であるその場所は絶滅が危惧される種を含め、多様な生物が息づく奇跡の場所。

特筆すべきことは市民活動とは「地域づくり」という信念です。決して仲間だけの狭義な活動に留まることなく、一番に「地域とともに」



を念頭にその視点を大事にしてきました。

公民館や町内会、社協も巻き込んで地域資源の保全・地域の活性化・まちづくり・人づくりに活かす活動に取り組み、2016年度には国土交通大臣賞「手づくり郷土(ふるさと)賞」も受賞し、各種イベントを楽しく開催しています。毎年恒例の「とんど」には、今年も倶楽部のメンバーなど多くの笑顔が集まりました!

「とんど」は今年の1月28日に開催されました。当日は100人もの参加があったそうです。

《ハートのポーズでニコリの撮影・制作は、中川圭子さん》